

Annual report

活動報告書

2024

家庭養育推進自治体モデル事業（福岡市）における子どもの居場所やショートステイ等の実施

2025年4月1日
社会福祉法人四季の会
どろんこの陽だまり

01 はじめに



社会福祉法人四季の会

社会福祉法人四季の会どろんこ保育園は大型商業施設キャナルシティに隣接しています。1981年に認可の昼間保育所として開園。1年後に第2どろんこ夜間保育園を併設しました。以降40年以上、福岡博多の地で夜間保育を続けてきました。何より大切にしているのは、「ファミリー ウエル ビーイング」という考え方。子どもとその家族が、今よりもっと幸せになりますように。この思いで、様々な保護者と子どもの生活を支えています。

どろんこの陽だまり

昼働く人の子どもは預ける場所がある
夜働く人の子どもは預ける場所がない



「すべての子どもに安心できる居場所を」という思いから、2024年8月に新しい事業を始めました。公的な夜間保育の対象から外れる小学生の孤立防止を中心に、様々な環境に置かれた子どもたちの育ちと家族の生活を支えます。夜間預かりと宿泊を兼ね備えた多機能な支援のモデルを構築し、すべての子どもが地域にとどまって健やかに育つコミュニティケアの実装に貢献します。

社会福祉法人四季の会

どろんこ保育園(保育所型認定こども園) Since1981

第2どろんこ夜間保育園(保育所型認定こども園) Since1982

花鶴どろんこども園(幼保連携型認定こども園) Since2004

天久ファミリー(小規模住居型児童養育事業) Since2011

どろんこの星(企業主導型保育事業) Since2019

どろんこの風(放課後等デイサービス) Since2020

どろんこの花(児童発達支援事業所) Since2023

どろんこの陽だまり(子どもの居場所事業) Since2024

02 陽だまりの機能

「どろんこの陽だまり」は3つの機能を持つ多機能型のサポート拠点

01 夜間の居場所

放課後、子どもたちが安心・安全に過ごせる居場所。夜間子どもだけで留守番をしているご家庭や様々な理由で養育が困難なご家庭のお子さんが対象。栄養士による栄養満点の食事を提供します。また、歯磨きやシャワーなどの基本的生活習慣や、学習サポートなど一人ひとりの子どもや保護者に寄り添いサポートしていきます。基本時間に加えて最大深夜3時まで預かります。

02 ショートステイ（宿泊）

子育て中の保護者が、病気、出産、冠婚葬祭、出張、育児疲れなどで養育が一時的に困難となった場合に宿泊で預かります。一日から最大7日まで利用できます。利用申請は区役所を通して行います。

03 子育て相談

子育てに関する相談にも応じます。



03 四季の会の方針

子どもの主体性を大切にしたかかわり

どろんこは子どもの「意見」を聞きます。

どろんこの子どもは「自分で決める」ことができます。

いつ食べるか、何を食べるか、何をして過ごすか、いつ寝るか。

自分で決めるから、安心して穏やかに生活できる。

子どもの意思に寄り添う生活を心がけています。

安心・安全のおいしい食事

「食べることは生きること」

どろんこの給食は、減無農薬の食材で和食中心。

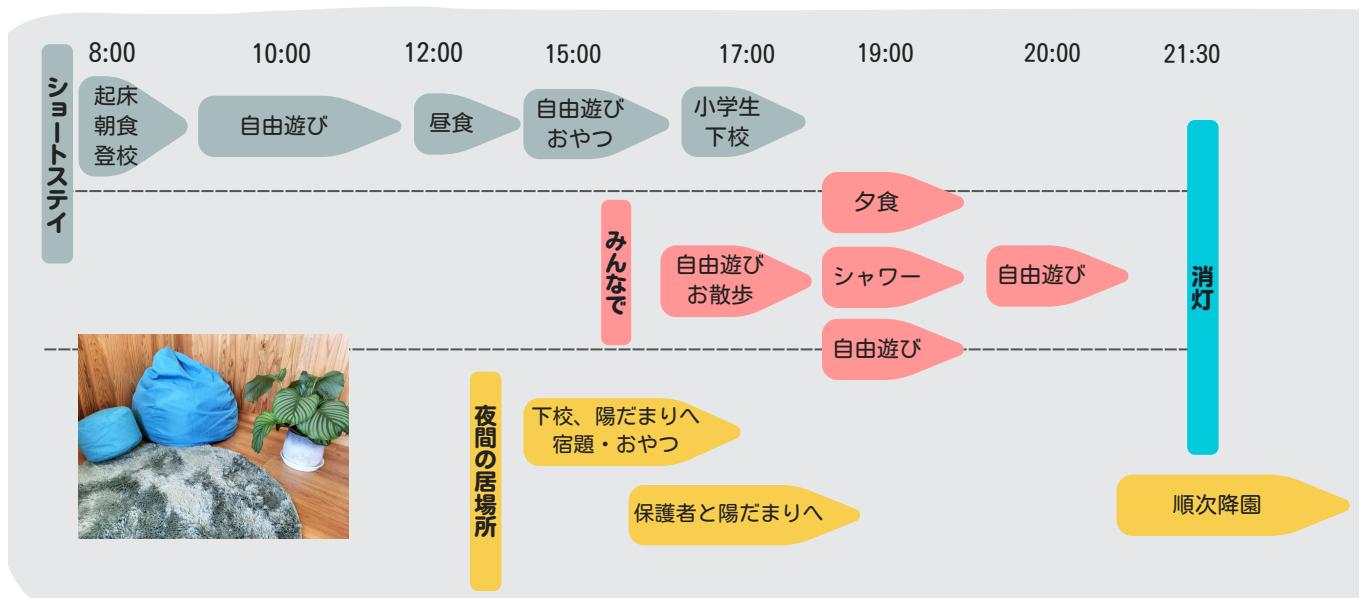
栄養士監修の、栄養満点の食事を提供します。



陽だまりの一日

どろんこの陽だまりは、居場所の小学生を中心に運営しています。時には「子ども会議」を開催し困ったことについて話し合ったり、イベントの企画をしたりします。

いつもは、カードゲームや鬼ごっこなどグループで遊ぶことが多いですが、宿題や読書、工作など個々で黙々と活動することもあります。ショートステイの子どもたちと同じ空間で過ごすので、一緒に遊んだり、お世話をしてくれることもあります。互いに認め合い助け合いながら楽しく生活しています。



04 2024年活動実績

夜間の居場所

(2025年4月時点のデータ)

●開所時間と利用料金

放課後～21時(基本時間) ¥1,000 (日毎) ※注1

21時～27時(延長時間) ¥100(1時間毎)



●利用定員

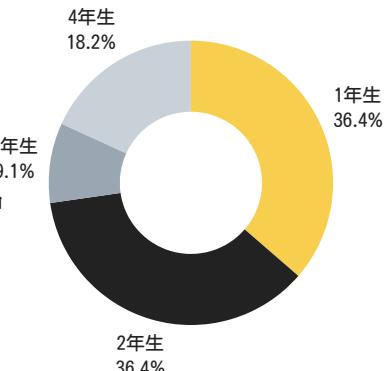
登録者数：11名(20名定員)

一日の利用定員：10名

●利用実績

792名(延べ人数) ※一日平均4名

利用児童の内訳 1年生4名、2年生4名、3年生1名、4年生2名



●利用例

Aさん：放課後～22時 / 月曜～土曜利用

学校から陽だまりへ直行。陽だまりで宿題を済ませておやつを食べます。その後は自由活動

Bさん：16時～24時 / 月曜～土曜利用

学校から自宅に帰ります。宿題とおやつを済ませて保護者と一緒に陽だまりへ。

Cさん：19時～26時 / 金・土利用

学校から自宅に帰ります。宿題、おやつ、夕食、入浴を済ませて保護者と一緒に陽だまりへ。

家族の生活時間に合わせて利用方法は様々。

保護者や子どもと丁寧に話し合いながら利用の仕方を決めていきます。

保護者が仕事の間、子どもたちは陽だまりの友達やスタッフと過ごします

※注1 基本時間は「無料」で事業開始したが助成金が受けられなかったため2025年4月より値上げ。

月極料金ではなく日払いに変更する。非課税世帯は引き続き基本料金無料とする。

ショートステイ(宿泊)

(2025年4月時点のデータ)

●開所時間と利用料金、利用日数

開所時間：24時間(年始1/1～1/3は休み)

利用料金：生活保護世帯、非課税世帯、ひとり親世帯 無料

そのほかの世帯 2,980円/一日

利用日数：原則7日以内

●対象と利用定員

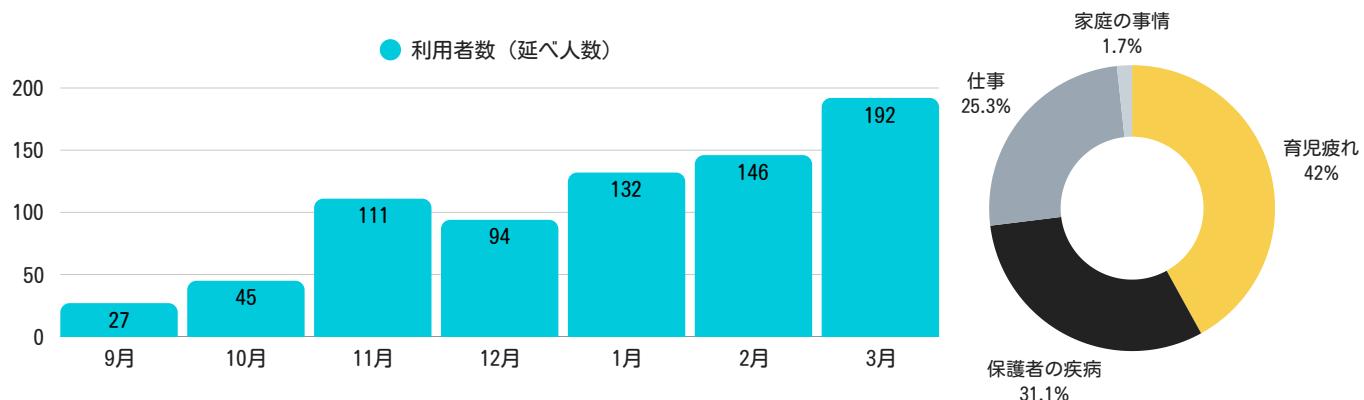
対象：3歳児～小学生

利用定員：10名

●利用者数と利用理由

利用者数：792名 ※一日平均3名

利用理由：育児疲れ42%、保護者の疾病31.1%、仕事25.3%、家庭の事情1.7%



子育て相談

●相談実施件数 50回

区の子育て支援課と連携をとりながら様々な家庭に合わせた支援を行う。

●家庭訪問 2回

保護者の実情を把握し、必要に応じて家庭訪問を行う。

●利用するサービスまたは関わる支援団体・機関が増えた家庭 10世帯

保護者や子どもの様子にあわせて、ショートステイ、一時預かり、夜間の居場所利用を勧める

利用者の声

「陽だまりが大好き。休みの日も遊びに行きたい。」（居場所・小1・男子）

「将来は、居場所で働きたい。人の役に立つ人になりたい。」

（居場所・小3・女子）

「宿題大嫌いだったけど、陽だまりで毎日やっていたら自分でできるようになった。」

（居場所・小1・男子）

「陽だまりは自由。ここなら泊ってもいいと思える。」

（ショートステイ・小3・男子）



「利用時間を融通利かせてもらえるので預けやすく助かっています」

（ショートステイ保護者）

「数日預かってもらっている間に、体調を整えることができました。

子育て再開できそうです。」

（ショートステイ保護者）

「夜間預かってもらえて助かっています。陽だまないと働けなくなってしまう。」

（居場所保護者）

「家では、野菜もご飯もあまり食べないので、陽だまりではたくさん食べててくれて。

本当にありがとうございます」

（居場所保護者）

「宿泊で預かってもらってありがたい。数日子どもも離れることで

家にいるときに子どもに少しだけ優しくできます。」

（ショートステイ保護者）

「誰一人取り残されない社会」の実現

四季の会は、40年以上「夜間保育」に携わってきました。幼児期までの子どもには、「夜間保育所」がある。しかし、保育園を卒園したあとの小学生はどうでしょうか。放課後児童クラブは19時まで整備されましたが、それ以降の時間帯は公的に保障されていません。親が夜間働いている間、多くの子どもは家で子どもだけで留守番しています。子ども家庭庁は「こどもまんなか社会」の実現を掲げ、子どもや若者のライフステージに応じて「切れ目なく」対応し十分に支援するという方針を提示しています。誰一人取り残さない、切れ目ない支援を掲げるならば、19時以降の「夜間の小学生の居場所」の整備は急務であり必要不可欠であると私たちちは考えます。

「どろんこの陽だまり」は、夜間の小学生の居場所を作りました。並行して、保護者のケアのためショートステイ事業も始めました。小学生低学年のうちから地域で子どもの育ちと家族の生活を支えていく。このことは、子どもへの虐待防止、さらには将来の子どもの非行や不登校の防止につながると信じています。

令和7年度は、第3の居場所事業の委託を目指し、「子どもの居場所」としてより多くの子どもと家族の生活を支えていきます。